

しんかん

# 真観

校成病院だより

第14号  
平成27年  
12月

## 【特集】

脳の不思議と医師の使命  
～脳神経外科～



# 佼成病院の理念

正しく見て、正しく手当する。

## 基本方針

1. 「からだ」・「こころ」・「いのち」を一つと観る全人的医療を行います。
2. 患者さんと家族に信頼され、地域で喜ばれる病院を目指します。
3. 誇りと願いをもち、温かいふれあいを実践します。



写真上 病院東側遊歩道

## もくじ

|                          |       |      |
|--------------------------|-------|------|
| 医療講演会を開催しました／病院にお神輿！？秋祭り | ..... | 3ページ |
| 【特集】脳の不思議と医師の使命～脳神経外科    | ..... | 4ページ |
| 東京佼成ウインドオーケストラ定期コンサート    | ..... | 7ページ |
| てくてく杉並散歩／わたしのおススメ        | ..... | 8ページ |

# 医療連携講演会を開催しました



佼成病院では、去る9月14日（月）、地域の医療機関の先生方を対象に医療連携講演会を開催しました。

当日は甲能直幸病院長を座長として、循環器内科 鈴木和仁部長、整形外科 小谷明弘部長より各々各科の症例や紹介を行いました。平日の夜でしたが、多くの先生方にお集まりいただき、意見交換など実り多い講演会となりました。佼成病院は、これからも地域の皆さんの健康に寄与できるよう、努力してまいります。

## 【講演会内容】

座長 甲野直幸 病院長

講演1 『虚血性心疾患の診断と治療について～当院での経験例をふまえて』  
循環器内科 鈴木和仁 部長

講演2 『変形性膝関節症に対する治療指針～国内外のガイドラインに準ずる』  
整形外科 小谷明弘 部長



## 病院にお神輿！？秋祭り

ここ杉並区には、都内で3番目の広さを有し、武藏国（今の東海道周辺）の三大宮の一つ、大宮八幡宮があります。この神社は、源頼朝を初め源氏の大将の多くの祖とされる源頼義が建立した神社で、「東京のへそ」と言われています。佼成病院は昨年秋、この大宮八幡宮にほど近い位置に移転してきました。



この大宮八幡宮のお祭りが、9月19～20日に開催され、街全体があちらこちらの町内会・氏子のお神輿でいっぱいになりました。病院の正面玄関にも、この地域の氏子の大きなお神輿がやってきて、安全祈願を行ってくれました。

大きな掛け声と賑やかな雰囲気が病院を包んだ秋晴れの穏やかな昼下がりでした。

## 特集

# 脳の不思議と医師の使命

## ～脳神経外科

よく、地震がくると「机の下に入って頭を守りましょう」と聞きますが、体の中で頭は大切だと考えている方はとても多いと思います。私たち人間の言葉や動きをコントロールしている脳。脳は人間にとって、どういうものなのでしょうか。また、どんな病気があり、どのような治療法があるのでしょうか。

今回は、俊成病院脳神経外科部長、中西 勝医師に「脳」について聞いてみました。

「脳神経外科」と「脳外科」は同じなのでしょうか？

そうですね。「脳神経外科」が正式名称です。日本のいわゆる「脳外科医」は、もちろん外科的な手術も行いますが、治療に手術を要しない、例えば、ただ単に「頭をぶつけた」という日常的なことから、脳梗塞などの投薬治療まで、幅広く診ます。ですから、「脳神経外科」と呼ぶのが合っていますし、脳神経外科学会でもそのように提唱しています。

「日本では」とおっしゃいましたが？

僕は、昭和61年に順天堂大学を卒業して、1年後に渡米したんです。

その時の教授が、これから脳神経外科医は、世界に出て行かないといけないと。26歳から30歳手前までの3年半、脳循環代謝（脳の血液の流れとエネルギーの代謝がどうなっているか）と、脳の動きを研究しましたし、英語も学びました。そのおかげで、今でも3分あれば、頭の中が英語に切り替わります。たった1人で3年半、楽しかったですが、大変と言えば大変でした。でも、その経験は今でも自分の中に刻み込まれています。アメリカでは、脳神経外科は細かい分野に分かれています。いわゆる「脳外科医」は日本の脳神経外科と対照的に手術しかしません。

先ほど「日本では」と申し上げたのは、そういう意味です。



写真上 アメリカ時代、研究室の同僚と。

1番右が中西医師です。

脳神経外科の主な疾患や治療法にはどのようなものがあるのでしょうか？

脳神経外科の疾患で一番多いのは脳卒中です。この脳卒中ですが、「脳梗塞」と「出血」（くも膜下出血など）、大きく二つに分かれます。頭の中の血管が詰まるのが、脳梗塞。血管が破裂てしまったのが、出血になります。脳梗塞は投薬治療、出血の場合は様々な手術で治療します。どちらの場合も、発症からなるべく早い時間で治療を開始することが大切です。外来診察にこられる脳卒中の患者さんは、年齢や性別を問わず、頭痛や手足のしびれを訴える患者さんが多いです。また、脳卒中の患者さんには心臓や糖尿病、肝臓などの持病をお持ちの方も多く、何が頭痛やしびれの原因かということを突き止め、他科に振り分けるのも我々の仕事です。



写真上 脳神経外科部長 中西 勝医師。



## 手術にはどのようなものがあるのでしょうか？

※

脳神経外科の手術は実に様々な種類があります。  
開頭手術（頭にメスを入れて病変を治療する術式）や神経内視鏡、血管内治療（血管の中からアプローチする術式）と挙げればそれは幅広いです。  
しかも、当院のような中規模の街の病院だと、診る範囲も広く一概に「これ」とは言えませんが、ここでは「クリッピング」と呼ばれる手術法を紹介したいと思います。

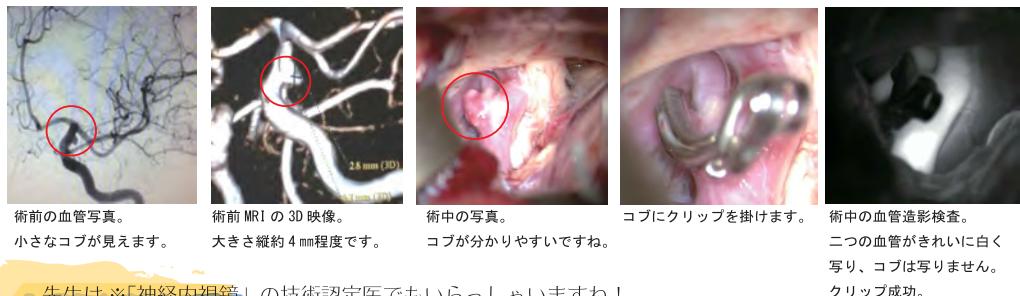


図上 クリッピングイメージ

クリッピングとは、脳血管にできたコブ（動脈瘤）の根本をクリップで挟んで、破裂を予防する手術です。クリップを掛けると、血液が流れなくなり、破裂を未然に防ぐことができます。  
もちろん、コブの形や場所によって必ずこの手術法を選択できるわけではありません。また、この治療法は開頭が必要なため、頭皮に傷はつきますが、根治性（根本から直すこと）が非常に高い手術法なんです。個人差がありますが、早い方だと、2週間ほどの入院で自宅に戻ることができます。



写真上 手術中の西中医師。顕微鏡がくるまれているのは、感染対策です。



術前の血管写真。

小さなコブが見えます。

術前 MRI の 3D 映像。

大きさ 約 4 mm程度です。

術中の写真。

コブが分かりやすいですね。

コブにクリップを掛けます。

術中の血管造影検査。

二つの血管がきれいに白く  
写り、コブは写りません。  
クリップ成功。

先生は※「神経内視鏡」の技術認定医でもいらっしゃいますね！

そうですね。この治療はおなじみの内視鏡（細いファイバー）を通して行うもので、主に水頭症などに使います。これを、脳内出血に応用できますので、もっと低侵襲（傷が小さい）治療が可能になります。来年には当院でもできるよう、準備を進めています。この手術法だと、傷も髪に隠れほとんど見えなくなりますよ。

守備範囲が広くて、大変そうです！

はい。先ほど挙げたクリッピング手術を始め、コイリング（脳血管内手術）、血腫除去、脳卒中のバイパス（詰まっている血管を迂回して新たな血管を作る）手術、また、顔面けいれんやてんかんなどの「機能」的な疾患など、多種多様な症状と治療法があります。今は順天堂大学と協力して、当院でも様々な手術が受けられる環境を整えていますし、手術成績もとても良いですよ。多くの患者さんが社会復帰されています。



大学病院まで行かなくても、治療が受けられるということですか？

そういうことです！もちろんまだこれからのものもありますが、例えばMRIひとつ撮るにしても、当院ならば当日に撮影を行います。当院には、最新式のMRIが2台もあります。「今日検査できるんですか？！」と驚く患者さんも数多くいらっしゃいますよ。昨年秋に設備が新しくなって良かったことは、患者さんをお待たせしなくとも良くなったということでしょうか。頭はみなさん、心配なんです。ですから、早く検査して何もないことが分かれば、「安心しました」とおっしゃいます。そういう意味で、脳神経外科医という立場はとても重いと感じています。

最近、テレビなどで認知症の話題を良く見ます



そうですね、認知症も脳神経外科の疾患で、外来の患者さんも多くいらっしゃいます。でも、実は手術をすれば治る認知症が二つ、あるんです。正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫が、それにあたります。先ほどお話ししたMRIで検査すると、脳のどの場所が委縮しているかすぐに分かります。手術で治るものならば、中に隠れている病変を取り除きますし、違う型の認知症の場合は内科的な治療を行います。

### 先生が日頃、心がけていらっしゃることはありますか？

脳神経外科は非常にデリケートな分野です。だからというわけではないですが、いつも身だしなみはきちんと整えています。大学の教えで、白衣の時は必ずネクタイ、ピカピカに磨かれた靴を身に着けています。ダラっとしているよりもピシッと背筋を伸ばした人に「主治医です」と言わされた方が安心しませんか？（笑）

脳は、色々な機能が細かく分かれている上に、脳全体のごく一部に凝縮されています。脳が活動している割合は何と全体の5%と言われているんですよ。手術ひとつ取っても、1mm、0.5mmずれるだけで症状が変わる繊細な場所です。ですから、自分がまずしっかり勉強しています。よく「手先が器用」と思われますが、まずは丁寧さが大事だと思っています。このことはよく後輩にも教えています。

### 最後に、地域の先生方、患者さんへのメッセージをお願いします！

この秋、医療連携室の室長に就任しました。

地域の先生方へは、頭のことを気にされるのでしたら、小さなことでも気にせずご紹介くださいという気持ちでいます。紹介いただいた患者さんは、必ず僕が拝見し、その方に合った治療をさせていただきたいと思っています。

患者さんに対しては、分かりやすい言葉で説明することをボリシーにしています。説明をきちんとし、分かりやすい資料や撮ったMRIの写真、所見などをコピーしてお渡しします。その時の説明を忘れてしまっても、後からそれを見れば分かりますから、お土産いっぱいのが僕の診察です。一人ひとり、お時間をかけて診察させていただくので、外来がとても長いです。これも僕の診察の特長でしょうか！（笑）



## 脳神経外科 医師のご紹介

なかにしはじめ

脳神経外科部長 中西 肇  
医療連携室長

医学博士  
順天堂大学脳神経外科非常勤講師  
脳神経外科学会専門医  
神経内視鏡技術認定医  
研修指導医



きたがわ りょう

脳神経外科医長 北川 亮

医学博士  
脳神経外科学会専門医

日本医科大学卒業。



### 【外来担当医表】

|     | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日                      |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------------------------|
| 午 前 | ※中西 | 神林  | ※北川 | ※中西 | ※青木 | ※中西（第1・3）<br>※北川（第2・4・5） |

順天堂大学卒業。

卒後1年で、米国国立衛生研究所留学。

3年半後帰国。順天堂大学医局、都立広尾病院などに勤務。

その後順天堂大学脳神経外科准教授に就任。

平成25年9月より佼成病院脳神経外科部長。

趣味（ストレス解消？）はスポーツクラブ。

夜、3時間みっちり行くことも。

「結構、体ガッチャリしていますよ！」と、本人談。

# 東京佼成ウインドオーケストラ 定期コンサート！！

10月19日（月）、東京佼成ウインドオーケストラの第1回定期サロンコンサートを開催しました。

昨年秋に一度コンサートを行いましたが、今回から「定期コンサート」と銘打っての開催です。プログラムはクラシックを皮切りに、歌謡曲や童謡など、幅広いジャンルからの木管5重奏です。「ん？どこで聴いた？」と思ったら、「ザザエさん」の挿入歌！お客様だけではなく、聴いている私たち職員も顔を見合せ笑うシーンもありました。



特に興味深かったのは、楽器の紹介コーナー。

一つひとつの楽器を、有名なフレーズとともに分かりやすく紹介していただき、説明の面白さに会場からは笑い声も。



写真右  
フルートの丸田  
悠太さんが司会  
を担当。ファゴ  
ットを紹介して  
いる場面。ファ  
ゴットは福井弘  
康さんです。

このコンサートは年2回、今後継続して開催する予定です。ポスターとホームページなどでお知らせしますので、ぜひ皆さまお越しください。管楽器のびっくりするような柔らかい音色と楽しいトークをきっとお楽しみいただけるはずです！



## 次回予告



佼成学園中学高等学校の吹奏楽部がやってきます！ ブラバンボ一イズの若さ溢れる演奏をお楽しみに。

日時：12月26日（金）

午後3時～

場所：佼成病院 1F 観音ホール

問い合わせ：佼成病院 総務課

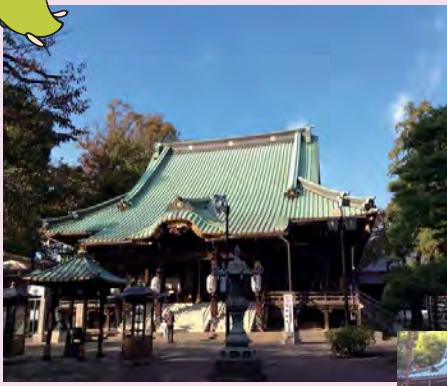
TEL：03-3462-4473（直通）



Kosei Gakuen  
Brass Band Live  
in Kosei Hospital



## てくてく 杉並散歩 vol.1 「妙法寺」



写真上  
祖師堂。東京都指定有形文化財。

妙法寺では、様々な行事が行われていますが四大行事のひとつとされるお会式（おえしき）はとりわけ華やか。毎年日蓮上人の御命日の10月13日前後に行われています。また、毎月3がつく日には縁日も行われています。ぜひお散歩がてら歩いてみてください！



写真上  
仁王門。現在の仁王門は、1787年に再建されたもの。  
東京都指定有形文化財。

写真右  
お会式の祖師堂。華やかです。



© SUGARINN CITY



## わたしのおススメ～「清水屋」の揚げまんじゅう

このコーナーは、編集スタッフのおススメのものをジャンル問わず皆さんにぜひ紹介させていただこう！という楽しいコーナーです♪

今回のおススメは、妙法寺の隣にある和菓子屋、清水屋さんの揚げまんじゅうです。

清水屋さんは、もともと環七通り沿いにあった店舗を今の場所に移されて、もう50

年を越えるそう。今は三代目のチャキチャキの女将さん、山田ひろみさんが後を継いでいらっしゃいます。このお店の揚げまんじゅうは、お店で注文を受けてから二代目が揚げたてを作ってくれます。味は3種類。サクッ、もちもちとした味わいは、揚げたてならでは。



写真上  
三代目、山田ひろみさんを囲む二代目、山田博さん、重子さん。

この11月に、代替わりとともにお店が新しくなりました。新しいお店では、和菓子に加え、なんとお蕎麦も食べられることに！お寺にお参りに来た折に「ぜひお蕎麦が食べたい」という声が多く、期待に応える形で、ひろみさんがお蕎麦作りを学び、始めたそうです。お蕎麦はもちろん全て手打ち！

お店は木目調のしっとりとしたインテリアでまとめられており、「女性がひとりで寛げるよう」とのひろみさんの思いがあふれています。

でも、何と言っても甘いのは、山田さん一家の笑顔！皆さんぜひ味わってみてください。今月も、食いしん坊の総務課プリンがお伝えしました。



名物揚げまんじゅう  
こしあん・つぶあん各¥140  
かぼちゃあん¥160



**清水屋**  
TEL 03-3311-0725 定休日 火・水曜日  
営業時間 10:00 ~ 17:00 (和菓子)  
11:00 ~ 15:00・17:30 ~ 20:00 (お蕎麦)  
お蕎麦 セいろ ¥750 ~  
日本酒・焼酎各種 (夜のみ) ¥500 ~

## 妙法寺・清水屋アクセス



東京メトロ丸ノ内線 東高円寺（徒歩15分）  
新高円寺（徒歩13分）  
JR中央線 阿佐ヶ谷駅より徒歩66系統  
(都バス・関東バス)  
高円寺駅より高46系統（京王バス）  
堀ノ内バス停下車、徒歩5分  
校成病院より徒歩10分



立正佼成会附属佼成病院

〒166-0012

東京都杉並区和田 2-25-1

TEL 03-3383-1281 (代表)

<http://www.kosei-hp.or.jp>

本年は誠にありがとうございました。  
来る新年が良いお年でありますように。